

—労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会により—

# あらぐさニュース

2013 7

Vol.50

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭倉438-6 TEL048-726-5730 048-726-5862(支援センター直通)

## 第13回あらぐさ祭り！！



平成 25 年 5 月 19 日（日）に、待ちに待った「あらぐさ祭り」がおこなわれました。

当日が近づくにつれ、「天気はあいにくの雨になるだろう…」と心配していましたが、みんなの仕事に励む姿が報われた結果なのか、奇跡的に晴天に恵まれた 1 日となりました。

ご来賓は、衆議院議員の中根一幸様、上尾市長の島村穰様、障害福祉課の皆様をはじめとして大勢の方々がいらして下さり、オープニングで心のこもったご挨拶をいただきました。

模擬店は、「杜の家」のポップコーン、「年金者組合」のフランクフルト、「かしの木園」のバザーや車でアイスクリーム販売など沢山そろいました。また、お花の店「ボニータ」さんは、毎年お花を寄付して下さっています。嬉しいことに「その店目当て」のお客さんもいらっしゃいます。仲間達も「どれにしようか迷う!!」と言っているくらいでした。

また、仲間による演芸大会や「あわダンス」、大抽選会など恒例のステージも行われました。今年のメインイベントは、おやじバンド「ジャム」さんによる生演奏でした。仲間達のことを第一優先に考え、「踊るポンポコリン」「勇気 100%」「世界に一つだけの花」「翼をください」などの歌って踊れる曲を沢山演奏して下さいました。仲間達は大声で元気良く歌ったり、ステージに飛び入り参加して踊ったりと、思う存分楽しんでいました。来年のお祭りも、盛大になる事を願います。

（関口 恵美子）

# 新クローズアップ

## ◎小谷仁美さんのこと

小谷さんは、「雑草」に入所して4年目になりました。人との関わりが大好きで、自分から近寄ってきては太陽のような笑顔で仲間達の顔をのぞき込み話しかけています。誰もが、「仁ちゃんどうしたの〜」や「な〜に？」等返事をして仁美さんを受け入れて過ごしています。

作業は、リサイクル班に所属していて、時には仲間や職員のエプロンの紐を解いたり帽子を取ったりしていたずらをしますが、人懐こい小谷さんを叱る人はいません。ペットボトルの入ったビニール袋の運びは、自分の気の向くまま途中でボン！と手を離してUターンしてしまいますが、キャスターの付いた網かごを押す作業は得意です。イキイキと取り組んでいます。

生活介護事業の取り組みでは、上尾市内の公園で散歩や、カラオケ、ボーリング、流しソーメン等々、色々な活動を楽しみながら参加しています。 (相良 美哉子)



上尾養護から雑草に入所して4年目、第二クローバーハウスに入って2年目になり、平日夜に妹がいないということに少しずつ慣れてきました。夜、テレビを見ていて妹がうるさくないのはうれしいと同時にちょっとさみしい気もします。

先日、第二クローバーハウスに母と様子を見に行ったら「なんで来たの…」という顔をされました。その顔を見て、妹は仲間に家族を見られるのが恥ずかしいのかなと思うとちょっと面白かったです。そんな表情を出してくるようになったのも一つの成長なのかなと思います。

憎たらしい部分もあるけど、まあしょうがないかな…と思わせてしまうのが妹の不思議な魅力だと思います。そんな妹のことを今後もぜひよろしくお願ひいたします。(姉)

# 障害者生活支援センターあらくさのページ

今回は、知っておくと便利な制度利用についてお知らせします。

よく相談がある、短期入所（ショートステイ、以下 SS）について

## 1 SSとは（主に知的障害と身体障害）

家庭で冠婚葬祭をはじめとして、家族の休養や病気等で、仲間が家で生活を送るのが難しい時に、入所施設（365日・24時間対応）で滞在するという制度です。

かつては緊急一時保護とあって、まさに緊急時しか使えませんでした。現在は家族のリフレッシュでも利用する事が可能です。

## 2 利用について（初めて利用する場合）

- ① 居住地の役所・役場の福祉課に申請する。
  - ② 障害程度区分（支援区分に名称変更予定）を調査認定（これは役所や支援センターがやります）
  - ③ 精神科医師に利用のための診断書作成し提出。（役所へ）
  - ④ 受給者証（水色で上尾市と書いてある）が支給されて、利用できる権利が得られます。
- 概ね最初は3日～7日位の支給量で支給決定されます。

\*ここまでで約1ヵ月かかります。

## 3 どの施設を使えるの？

- ① 原則としては県内の施設（知的障害約60カ所、身体障害約20カ所）手帳に合わせているところがほとんどです。
- ② どの地域でも利用できますが、あまり遠距離の場所だと移動も大変です。

## 4 どうやって利用するの？

- ① 受給者証がでると、役所で施設一覧表を頂いて、希望する施設を探します  
（役所では公平中立の立場から、この施設でというのはいえませんが相談には応じてくれます。分からない時は支援センターがお手伝いすることも可能ですし、手続きからもお手伝いします。）
- ② 利用したい施設が決まったら、先方に連絡をして空き状況を確認します。  
\*まず本人と一っしょに見学して、よければ契約をします。多くの施設はまず、日帰り利用⇒一泊⇒二泊とふやしていきます。1泊3食で平均5000円以内です。

## ただし、この制度は多くの問題があります。（これを知っておかないと大変）

①すぐに利用できない②希望が多く空きがない③特に土日は新規利用は困難④遠い施設でも送迎は原則家族です。⑤長期利用も困難\*全て施設数が少なく、希望者が多いという矛盾があるので。不十分な制度ですが、体験はしておかないと、将来の親離れ・子離れには必ず必要ですので、余裕のあるうちにぜひ体験利用して下さい。

詳しく知りたい方は、支援センターあらくさに連絡して下さい。

（中富 英二）



# 盛りだくさんな一日でした！



AKB48踊ったよ！



国旗クイズ パート2



みんなでゴールテンボンバー！？



楽しい あわダンス

僕はあらぐさ祭りで仲間の演芸大会ではプロ野球の巨人の王選手と阪神の田淵選手、両選手の一本足のものまねをしました。また、お昼は焼きそばとジュースを買いました。また手作りケーキを買いました。また、おやじバンドの歌と踊りの楽しかったです。また、あわダンスの踊りも楽しかったです。またバザーではノートとのれんを買いました。のれんは北海道の阿寒湖です。よかったです。

(今田 正士)

## お菓子班

「雑草」のお菓子で一番人気はシフォンケーキです。今年は、それよりティラミスやレアチーズ、ダークチェリータルトなどのケーキが良く売れました。いつもはなかなか販売に出ないケーキに、みなさん興味があるらしく、買っていただけましたようです。また、喫茶室はゆったりとくつろげる休憩所になりました。

お昼の焼きたてパンは、「まだなの？」と待っていて下さっているお客さんがいます。祭りでのパン販売も5年目を迎え、パン班の仲間や職員も余裕を持ってできるようになりました。焼立てパンが届くと香ばしい匂いが辺りを漂いました。匂いに誘われお客さんが列をなし、白衣を着た職員も販売に加わり大忙しでした。

(藤川 賢子)



種類豊富で美味しいお菓子です！



ほっと一息、憩いの場

## リサイクル班

今年は目先を変えてキュウリの浅漬けと飲み物を販売しました。前日に手作りの付け汁に漬け込んだ胡瓜を100本用意しました。「美味しい」と言って下さるお客様が多くて、完売できました。

また、「雑草」の仕事を知っていただきたいこともあり、今回初めてですが足踏みプレス体験コーナーを設けました。足踏みプレスとは、アルミ缶を機械の中に入れ、足でレバーを踏んで缶をつぶすという作業です。初体験の方が多く物珍しさや、缶をプレスした時に出る「グチャ」といった音も関心を引き寄せたようです。老若男女を問わず幅広く沢山の方に体験して頂けました。熱中し、数回連続で体験する方も多くいました。また、景品片手に笑みを浮かべ歩いている方を多く見ることが出来たので、楽しんで頂けたのではないかと思います。

(伊藤 彰人)



美味しい胡瓜はいかがですか？



思いっきり踏みましょう！



# 『第1クローバーハウス通信…夏』

## ◆第1クローバーハウスとは・・・

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。外観は、普通の民家と変わりありません。2002年11月に開所し、現在6人の男性利用者が生活しています。365日開所です。

### 〈空模様を見ながら〉

第1クローバーハウスからあらぐさに通う4人の中で今田さんと矢部さんの2人は、これまで雨の日も風の日も自転車で通所していました。しかし、2人とも50歳を過ぎ、通所途中の自転車トラブルの心配も増えてきたので、今年度から天気の悪い日は、あらぐさの送迎バスを利用することになりました。

この送迎バスの件を2人に話してからというもの今田さんは、帰宅するとすぐに「明日の天気はどうですかね？」と天気予報のチェックを



(送迎バスで行ってきまーす！)

(晴れている日は自転車です)



始めるようになりました。そして、その見通しを必ず職員に教えてくれます。「明日は夕方から雨みたいですけど、バスで行った方がいいでしょうか?」「明日は晴れみたいなので自転車でいきます」「明日は一日雨なのでバスですね」こんな会話が夕方の一場面になりました。

矢部さんも天気をチェックしています。部屋でテレビを見ている矢部さんに天気を聞くと、見ていたチャンネルを変えて天気マークを指さし教えてくれます。「明日はバスですね」との職員の声かけにニコッとうなずきます。

雨の日限定とはいえ、今までの通所手段の変更を2人が受け入れてくれるかという心配がありましたが、すんなり受け入れてくれました。今の梅雨の時期、ジメジメして気分は下がり気味ですが天気の話で第1クローバーハウスは盛り上がっています。

(高橋 好治)

# 後援会のページ

## ～あらかさ福社会後援会第14回総会開催～

平成25年6月8日(土)に第14回あらかさ福社会後援会定期総会が行われ、各議案とも承認されました。

今年度の課題としては、予算通りに収入を得られるかということ。コンサートがありませんので会員拡大・物品販売・模擬店等に力を入れて取り組まなければいけません。

この収益から350万円は本部会計に寄付し、法人運営のために使われます。太田理事長から「昨年度、本部会計は170万円の黒字でした。でもこれは後援会からの寄付をいただいたからです」と言われ必要とされているお金なのだ実感しました。「雑草の建物も直さなければいけない所もあり、また国の政策等がかわって事業が影響を受けても耐えられるように安定した運営をしていかなければいけない」とも言われ、やはり後援会は仲間・職員が充実して働けるよう支援していかなければと思いました。みんなで励まし合いながら活動していきたいと思います。

それから総会前に、“社会福祉法人皆の郷”理事長町田初枝様をお招きし、「川越いもの子」のあゆみや古い親と新しい親のギャップ、障害者問題を訴える運動の大切さなどをお話していただきました。特に心に残ったのは「現状維持は衰退する、次に進むことを考える」でした。

親亡き後はどうしたらいいのかと云う思いは常にありますが、もっとケアホームを作ろう、入所施設を作ろうという行動には踏み切れていません。また、雑草は人数がいっぱいなのでもう一つ事業所があったらと思うのですが、それも思っているだけです。

自分の子のためだけでなく必要としている人のために、一步を踏み出す時期に来ているのではないのでしょうか。

今何が必要か考え行動できるようにみんなで頑張りましょう。

あらかさ福社会後援会

会長 高橋弘美

## 後援会入会のお願い

日頃よりご支援、ご協力を頂きありがとうございます。挨拶にもありますように、「雑草」の仲間の生きる権利、生活と暮らしを守るためにも、会員の皆様には引き続きご加入をお願いいたします。新会員も募集しております。是非会員となって頂き、「雑草」を支えていきましょう。

後援会入会・継続の申し込み用紙を同封しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

# お知らせコーナー

## 上尾市役所での販売予定

7月3日(水)・24日(水) 8月21日(水) 9月11日(水)

☆市役所においでの際は是非お立ち寄り下さい。毎回、12時頃から焼き立てのパンを販売します。

## 夏祭りやイベントでの販売予定

(ケーキ・クッキーを販売します。)

7月27日(土) ひばり特別支援学校サマースクール

8月4日(日) しののめ納涼祭(老健施設・しののめ)

8月10日(土) ボランティアフェスティバル(上尾市コミュニティーセンター)

9月8日(日) 元気祭り(丸山公園) 焼そばも販売します

9月16日(月) 元気アップフェスタ(上尾市役所ピロティ)

## きょうされん全国大会

『第36回きょうされん全国大会 in 東北・ふくしま』が2013年9月21日(土) 22日(日)に福島県郡山市で行われます。

今回は大震災にあった福島で行われることから少しでも応援しようと雑草からも仲間5名、職員3名といつもより多くの人たちが参加します。

震災や原発事故にあった人たちが今でも大変な思いをしていることを忘れてはならないし、その思いをどうやったら担えるのかと考える機会にしたいと思います。

～編集後記～

楽しかった“あらぐさ祭り”が終わるといよいよ暑い夏のシーズン到来です。

あらぐさ祭りで仲間からパワーをもらったとともに心も体もリフレッシュできたので、今年も体調管理をしっかりして暑さに負けないように頑張りたいと思います。

また、今号より仲間の一人一人に焦点をあてたクローズアップが復活しましたので楽しみにして下さい。

(高野内 信彦)